

## 後期学校評価（12月実施）結果と分析

12月の学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果をお知らせします。

### 〔保護者・児童による学校アンケートから〕

「よくあてはまる」「あてはまる」の肯定評価の割合について（↑）（↓）は前期比5%以上

項目	肯定的評価	
	児童	保護者
学校に行くのが楽しい	84%	82%
挨拶をしている	80%	85%
きまりを守って行動している	84%	89%
相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている	84%	80%
自分によいところがあると思っている	77% (↓)	83%
授業の内容が分かっている	86%	80%
宿題や予習復習など、家庭学習（学童含む）に取り組んでいる	87%	83%
運動をしている	83% (↓)	70% (↓)
難しいことでも最後まで挑戦している	85%	73%
ゲーム、動画、メールなど長時間していない	63%	53% (↑)
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている	98%	98%

- ・「挨拶をしている」の項目では、児童アンケートでは3%、保護者アンケートでも4%下がっています。本校の児童は学校内ですれ違くと、「おはようございます！」と元気に挨拶をしたり、会釈をしたりと上手に挨拶できる子が多いと感じます。しかし、それがいつでも誰とでもできるかということになると、まだまだ不十分なようです。挨拶は、人と人がつながり合うための言葉であり、してもされてもいい気持ちになります。また、登下中に見守ってくださる安全協力員の方々や、保護者の方へ自分から先に挨拶することによって、防犯対策にもつながります。ぜひ自分から進んで、誰とでも挨拶できるようになるといいですね。
- ・「自分にはよいところがある」の項目では、児童アンケートでは7%、保護者アンケートでも3%下がっています。本校では「ほめて、認めて、励まし、勇気づける」を合い言葉に、教育活動を進めてきましたが、児童の自己肯定感を上げるには、まだまだ声かけが足りないことがわかりました。3学期は日常的な学習場面はもちろんのこと、縄跳び週間や6年生を送る会等、子どもたちが頑張る機会がたくさんあるので、機を逃さずにたくさんほめて、子どもたちの良さを伸ばしていきたいと思えます。ぜひご家庭でも、子どもたちが頑張っている姿を認め、励ましてください。
- ・「運動をしている」という項目では、児童アンケートでは5%、保護者アンケートでは6%下がっています。天候の影響で残暑が厳しかったり、天気が悪かったりした影響もあるのかもしれませんが、加えて本校では3学期はピロティの改修工事が始まり、ピロティが使えなくなり、ますます体を動かさないことが多くなることが予想されます。児童の体力が低下しないよう、体育の時間にスポチャレの8の字に取り組んだり、縄跳び週間で自分のめあてを達成したりできるよう、意識して運動し心も体も強くなれるといいですね。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている」については、児童、保護者ともに高い数値となっています。いじめの定義は、いじめを受けた側が「心身の苦痛を感じる」こととなっています。どんな理由があっても、いじめてよいことにはなりません。また、「いじめ防止対策推進法」では、「保護者は、その保護する児童等がいじめを行うことのないよう、規範意識を養うための指導その他の必要な指導を行うよう努めるものとする」と書かれています。トラブルは起こるものですが、だからといっていじめていいことにはならないことを繰り返し伝えていきましょう。気になることがあれば、学校にご相談ください。